

大学院アジア・アフリカ総合研究プログラム

2018 年度研究フォーラム

You,
Unlimited



大学院アジア・アフリカ総合研究プログラム（The Graduate Program of Asia and Africa Studies: GPAAS）主催の研究フォーラムを下記の通り開催します。オープンなフォーラムですので、広く学生、教員、一般の皆様にご参加いただけましたらと存じます。

第1部で、本プログラムが最も重視する現地フィールド調査を行った大学院生の現地調査報告と、これから調査に赴く研究計画の紹介をしていただきます。

第2部で、アフリカと東南アジア地域をフィールドとする3人の政治学者をお招きし、本学の研究者と共に「言語と文化を異にする他者を理解する試み」としての地域研究を議論します。

皆様のご来場をお待ちしております。

記

開催日時：2019年1月21日（月） 13:15～17:15

場 所：龍谷大学深草キャンパス和顔館 B106

第1部 GPAAS フィールド調査報告、研究計画報告：5名

13:15-15:00 ※発表15分＋質疑応答5分程度

司会進行：鈴木 滋（龍谷大学国際文化学研究科）

- 1) 高橋 大和（国際文化学研究科）「ペルシア絨毯生産における都市との関係性と工房の活動について－20世紀以降のイスファハーンを中心に－」
- 2) 内田 拓巳（経済学研究科）「ラオスにおける初等教育の普及を妨げる要因分析」
- 3) ツオイ オーリガ（国際文化学研究科）「極東から見たロシアン・アイデンティティ形成の実態」
- 4) 楊 方昊（国際文化学研究科）「唐墓壁画の研究－胡人文化を中心に－」
- 5) 湧川 知子（国際文化学研究科）「真如苑、霊友会における「苦」と信仰」

15:00-15:15 休憩

第2部 「アジア・アフリカ地域研究を通して見えてくるもの」

15:15 趣旨説明 濱中 新吾（龍谷大学法学研究科）

15:20 講演1) 岩田 拓夫（立命館大学国際関係学部 教授）

「変わりゆくアジアとアフリカの関係」

16:00 講演2) 伊賀 司（京都大学東南アジア地域研究研究所 連携講師）

「性的マイノリティから東南アジアの民主化の現時点を考える」

16:40 コメント1) 外山 文子（京都大学東南アジア地域研究研究所 連携講師）

16:50 コメント2) 斎藤 文彦（龍谷大学国際文化学研究科）